

令和2年5月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年5月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が1業種、前年同等が6業種、悪化が7業種で、全体の景況感DI値も4月より悪化し、リーマンショック発生時と同程度の水準となった。

新型コロナウイルスによる経済停滞の影響は大きく、売上減少、収益の悪化の報告が続いており、深刻化している。

緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの収束と経済活動の回復には時間がかかると考えており、先行きに不透明感を抱く声が多い。

山口県の主要指標 DI 値 (令和2年5月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：0.0% 悪化：72.5% DI値：▲72.5% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加：3.8% 減少：71.3% DI値：▲67.5% ポイント










収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：71.3% DI値：▲66.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値 (業界の景況) (令和2年5月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲88.9	▲66.7	▲66.7	▲100.0	▲66.7	▲50.0	▲50.0	▲69.7
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲80.0	▲100.0	▲100.0	▲90.9	▲36.4	▲57.1	▲100.0	▲74.5	▲72.5
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響で売上が減少している。企業により売上減少の状況はいろいろあるが、50%以下のところもある模様。	調味料製造業
	コロナ禍の菓子製造者にとって、依然、厳しい状況が続いている。持続化給付金は申請後2週間で受給できたと聞いているが、組合員規模の大小で満足度に差がある。県の飲食店向けの営業持続化等支援金10万円はカフェ併設の組合員は該当し、製造のみの組合員は該当しないため不公平感を持つ組合員もいる。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	中旬より学校が再開されたが、給食の製造を主体とする事業所は、売上が5割以上減少の見込み。給食以外についても、外出自粛により売上が減少している。	パン・菓子製造業 下関市
	コロナ禍で大きな影響を受けている。ゴールデンウィーク期間を臨時休館としたため売上が大幅に減少。この期間だけで例年、5,000万円以上の売上有るが、それが休館でゼロとなった。5月7日に通常の営業を再開したが、直後の店舗日商は▲30～35%程度と厳しい推移。首都圏への業務用鮮魚出荷も先方が休業のため停止しており、店舗外も7割減と厳しい。4月より組合員店舗の負担軽減のため施設利用料（家賃）を半年間半額とすることにした。売上減少・家賃収入減に加え、感染防止対策にも費用がかかり収益は大きく悪化する。	水産食料品製造業 萩市
	新型コロナウイルスの影響で観光業界への出荷が急激に減少し、売上が大幅に減少した。原材料となる魚の水揚げが大幅に少なく、一部が高騰している。水揚げが少ない原因は、温暖化、漁業者の減少、小魚の住む藻場等の整備不足等が考えられるが定かではない。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスの影響により売上減少。	水産食料品製造業 下関市
	昨今の新型コロナウイルスにより間接的に打撃を受けている。当組合の製品はギフト需要や贈答需要も大きく、それに対する百貨店の休業等による自粛は、取引先が急にいなくなる妙な現象となり慌てている。観光地等インバウンド皆無の状況は見たことのない光景であり、取りあえず融資・給付金・補助金等を利用してのつなぎ営業の状態である。今後の国の対策・コロナの終息・ワクチンの開発を待つ日々。日々少しずつ回復の兆しはあるが、先行きが見えない不安な状況が続いており、強いストレスを抱えている。	

	<p>2020年5月は、新型コロナウイルスが日本各地でも蔓延し、緊急事態宣言が出るなど、想定外の事態が発生している。いわゆる突発的な想定外の事態に対応できるような経営の仕組みの構築が必要となっている。休業要請を中心とした政府のウイルス対策等により、自粛ムードが広がり、2020年5月も、記録的な不況となった。ただ、緊急事態宣言も解除されたので、今後は経済活動の再開に向けた中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが、必要となる。また、今回のコロナ対策に関しては、スウェーデンのような国民の自主的なソーシャルディスタンス活動による集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>中国人技能実習生8名（2法人各4名）の3/30来日予定がコロナ問題で未だに来日できず、派遣会社からは何時になるかわからないとのこと。コロナ問題で主要取引先の休業により、販売低下、在庫増となり6月以降の受注が大幅に減少の見込みで、6月からやむを得ず操業調整をする。当面9月まで6日/月平均臨時休業を実施の予定である。</p>	下着類製造業
	<p>新型コロナウイルスの影響で、生産ロットが小さくなっている。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>新型コロナウイルスの影響で、9月入学の検討が始まった頃より仕事量が7割位となった。4月入学から9月入学になれば制服メーカーは例年12ヶ月での生産が、17ヶ月の生産となる。先日の政府の結論では来年度の9月入学は先送りとなり、とりあえず安堵した。</p>	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	<p>5月は新型コロナウイルスの影響で、最悪の景況であったと思う。6月分からは少しずつ問い合わせ等が増加しており、このまま落ち着いてくれると良いと思う。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
	<p>消費増税以降は、新型コロナウイルスの影響が重なり、依然として業況の低調が続いている。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
印刷	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の外出自粛、イベント、会合等の中止の長期化により、多くの業界において、各企業体力は削り取られている。印刷業界においても、特にチラシ等を中心に手掛ける業者への影響が深刻であり、売上が前年同月比50%程度に落ち込んだ会社もある模様。緊急事態宣言が解除になったとはいえ収束の見込みは不透明で、たとえ収束しても、経済活動はすぐに元通りにはならないため、本年度の日本経済全体への打撃は相当に深刻なものと考えられる。</p>	下関市
	<p>5月も仕事は少なく、特に工場は稼働率が悪く、従業員も休ませざるを得ない状況。</p>	山口市

<p>窯業・土石製品</p>	<p>(令和元年5月) 骨材 86%、路盤材 110%、再生材 112% ↓ (令和2年5月) 骨材 112%、路盤材 73%、再生材 105%</p> <p>新型コロナウイルスの影響は組合員で差がある。今のところ全くない会社もあるが、取扱商品によっては売上半減の組合員も出てきている。ほとんどの組合員で路盤材の出荷が前年度より減少している。</p>	<p>砕石製造業</p>
	<p>出荷量は、前月比91%、前年同月比97%。現時点の、セメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>
	<p>戸別訪問型の営業担当がいる事業所に関しては、新型コロナウイルスによる営業自粛によるダメージは深刻である。如何に自社の信頼により足を運んで頂ける顧客開拓が重要かを思い知らされる時期であり、如何に顧客の要望に応えられるか自らのキャリアアップを試されている時期ではないだろうか。</p>	<p>石工品製造業</p>
	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、先月同様、市内の観光客は皆無。ゴールデンウィーク期間の小売店の売上も回復せず。23日頃から、わずかではあるが県内の観光客があったが、売上は引き続き厳しい状況で、窯元では引き続き生産を見合わせている。ECサイトを運営している事業所では売上を大きく伸ばしている。組合では、ゴールデンウィーク期間の5月1～5日、e-萩焼(萩商工会議所運営ネット販売サイト)の一部を間借りし、萩焼のGW特別企画販売を実施。119点、約63万円の売り上げ。14日に組合総会を開催したが、新たに2名の入会があり、計12名の体制となった。今年度事業の目玉としては、現在萩市が実施する経済支援対策であるチャレンジ補助金を利用し、組合独自のHPを制作し、また販売サイトを立ち上げ運営する事などが話し合われた。27日には、萩焼まつり実行委員会主催のバーチャル萩焼まつり(10月1日～31日)について話し合った。萩焼まつり中止の際に、それに代わるものという事で萩市に要望していたイベントがバーチャルで実現。出店対象も、例年の萩焼まつり出店対象者103件に加え萩陶芸家協会の会員の方々にも声掛けして、オール萩焼で取り組む大規模なイベントとなる予定。</p>	<p>陶磁器・同関連製品製造業 (萩市)</p>
<p>一般機器</p>	<p>当組合の組合員は、ほぼプラント関係の建設業であるので、我々の業界は新型コロナウイルスの影響が直ぐには無い模様。前年同月と変わらずプラントの定修工事期間に入り、繁忙期を迎えている。昨年と変わらぬ売上高を維持しているが、収益はというと、コロナ対</p>	<p>下松市</p>

	策などで今までに無い出費があり悪化の傾向である。半年、1年以上先の案件はどういう方向になっていくのか、この先は不安ばかりである。	
	新型コロナウイルスの影響で受注が減少し、残業も以前に比べて減少している。	周南市
	新型コロナウイルスの影響により、自動車関連でマツダは、4月27日～5月1日は全面的に休業、その後5月29日までは夜間操業を停止するなど生産調整を行ったため、組合内部は諸に影響を受けたところがある。建設関係でも作業員が互いに密接な連携が必要なので発注が遅れ気味になっている。鋼構造物製作の企業は6月以降の見通しが難しくなっている。緊急事態宣言の後の対策、特に雇用調整助成金など企業救済策が後手後手に回り、対策が出ても手続きの簡略化や助成金額の変更などがあり、なかなか理解をすることが難しい。	防府市
	新型コロナウイルスの影響で、製造業、食品加工業において事業縮小が認められ、休業補償を利用している企業もあるが、現段階では特別大きな問題とはなっていない。スーパーについては人手不足感が顕著である。今後の展開は予断を許さないが、10月以降についても、外国人技能実習生、特定技能の受入れ増員の要望は多い。なお、外国人技能実習生の入国、帰国に支障が生じており、業務のスケジュール調整に苦慮している。	宇部市
	新型コロナウイルスの影響の拡大に伴い先行き不透明の状況で、今後、売上が減少傾向になる可能性が高い。	
輸送機器	直接的ではないが、コロナ禍の影響がある。部品入荷の遅れから、生産計画のズレ込みが出ている。操業の落ち込みにより、受注への影響が有る。鉄道車両では輸出案件がズレ込み、輸出以外の案件も生産計画の見通しがはっきりしない状況。半導体は高い作業量水準が継続している。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	売上が前年比13%増加。新型コロナウイルスの影響で売れない業界の商品もあるが、コロナに関係なく売れている業界の商品もあり、全体では新型コロナウイルスの影響はない。	乾物卸売業
	新型コロナウイルスの影響で、販売先を失ったままである。ふぐ、魚ともに価格が下がっている。	生鮮・魚介卸売業
	新型コロナウイルスの影響で、飲食関係取引先の休業、時短営業等により売上が減少。営業している取引先もあるので、休むわけにもいかない。自宅消費の生鮮食料品、酒類、マスク等衛生関連商品のスーパーへの	各種商品卸売業

	卸は好調。	
小売業	緊急事態宣言後に店舗を開けた店でも客足は鈍いようで、まだまだ新型コロナウイルスの影響は出ており、売上も伸びていない模様。ステイホームや日常のマスク生活で化粧をすることが減っているとテレビで言っていたが、それも原因の一つと思われる。早く収束して活気のある店が増えることを祈っている。	化粧品小売業
	新型コロナウイルスの影響で、家電の売上は前年同月比10%のダウン。個々の店で差がある。4月と同様に展示会等イベントの中止等で売上が減少。	機械器具小売業
	アフターコロナの声も聞かれるようになったが市況は依然として冷え込んだまま変わらず。緊急事態宣言が解除されて、テイクアウト売上げが激減。応援消費が止まった形。各種の支援施策も申請が複雑で多岐にわたり、日常業務と並行して行う困難に加えて支給の遅いことが心理的疲弊に拍車をかけている。また飲食支援に偏向した施策も不平不満が噴出。支援環境と評価は非常に悪い。そんな中の5/30に商店街「テイクアウト市場」を開催。お客や各地関係当局から高評価を得る。しかし問題点も多く、今後の商店街運営に活かしていきたい。また事業推進の中で商店街独自のガイドラインを策定したことは評価できる。来月からの巻き返しを期待するが北九州地域の感染拡大など懸念材料も多い。	各種商品小売業 岩国市
	新型コロナウイルスの影響で、商店街への来街者は激減のまま。	各種商品小売業 周南市
	新型コロナウイルスの影響で商店街への来街者数が激減している。非常事態宣言が解除となり、閉店していた飲食店等が5月末から6月初めにかけて開業するとの話も聞いているが、商店街も今までの減収を取り戻すまでに、まだまだ時間がかかりそうである。	各種商品小売業 下関市
商店街	新型コロナウイルスのために、商店街としての機能を果たしていないように思う。飲食関係はもちろん、旅行に行くから服を買う、靴を買うといったお客がゼロとなった。市、県の新型コロナウイルス対策の補助金等の対象にならないから、大変だという店舗もある。	防府市
	飲食関係の店が閉店し始めている。新型コロナウイルスの影響で、徐々に厳しさが増しており、今後が心配である。	宇部市
	新型コロナウイルスの影響で、商店街の人通りは未だ多くない。売上は、衣料50%減、宝飾30%減、飲食80%減と全体的に良くない。組合事務所に「補助金等をインターネットで調べてほしい」との問い合わせがあったが、「補助金はあるが書類の多さ、スピードが遅い」と、商店主は話す。	萩市

サービス業	美容業には新型コロナウイルス感染拡大防止の休業要請は出なかったものの、客足が遠のいたままであったが、緊急事態宣言が解除されてからは、いつも以上の盛況であった。特に5/25から公立学校が再開される事により、その前週には未成年の来客が目立った。	美容業
	新型コロナウイルス感染症の影響で客足は減少、先行き不透明。	理容業
	昨年の消費税増税、また、新型コロナウイルス感染拡大の影響が追い打ちをかけ、昨年10月から本年4月までの7か月連続で自動車（新車新規）販売が大きく減少し対前年で全てマイナスとなっている。特に、本年4月の販売台数は前年比で、登録自動車が18パーセントのマイナス、軽自動車が36.6パーセントのマイナスとなるなど、販売店にとって死活問題となってきたおり、内閣府が公表した各種支援制度の活用を促している。山口市では、くるまの販売売上高が前年同月比で20%以上減少したことで20万円の給付対象となる可能性があるとの情報もあり、当組合としても情報収集及び情報発信に努めている。	自動車整備業
	新型コロナウイルス感染拡大防止の休校で、スイミングスクールの被害は甚大。スポーツジムは危険スポットになってしまっている。入会者が非常に少ない状況が続いている。今後の回復は、コロナウイルス次第である。	スポーツ・健康教授業
	衣替えも本格的に進み売上也伸びてきたが、新型コロナウイルスの影響で前年同月比では20%弱の減少である。繁忙期後の資金繰りが心配なため、余裕資金として県のコロナ対策融資制度を受けた。同業者の売上に関しても同じような状況だが、先行き不安の融資制度の利用においては、事業所によって分かれるようである。	普通洗濯業
	新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除され営業を再開したが、お客はまだ自粛の様子。	飲食業
	新型コロナウイルスの影響で、前年対比ほぼ100%の減収減益。	旅行業
	新型コロナウイルスの感染拡大に伴いキャンセルが続出。対前年同月比で、宿泊客数、売上とも9割の減少。旅館組合加盟15施設中の6施設では、休館に伴い宿泊人員、売上ともゼロであった。	旅館業 山口市
	新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されたが、外出自粛要請は出ており、ビジネス以外の予約はほぼない。	旅館業 下関市
	新型コロナウイルス感染拡大防止により飲食事業は休業中。入浴者等の利用者は60%の減少となった。持続化給付金及び税金の猶予等により資金繰りを確保した	旅館業 長門市

	が、厳しい状況が続いている。雇用継続は雇用調整資金で繋げている。	
建設業	中電への工事申請 114 件（当支部 97 件）、前年同月 94 件（同 63 件）。太陽光発電への申請 23 件（前年 29 件）、オール電化申請 68 件（前年 47 件）。LED 街路灯への切り替え・新設申請 13 件（前年 12 件）であった。	電気工事業
	新型コロナウイルスの影響で、今後、業況は悪化し、事業所の数及び規模の縮小と技能者数の減少は更に進む。しかしながら意欲を持ち求人活動をする事業所にとっては高校新卒の採用は改善されると予想される。	左官業
	今年度は、後継者養成と技術継承のためもあり、例年より早く 5 月に入札が始まり、小規模工事ではあるが順調に受注が出来ている。新型コロナウイルスの影響はほとんど無い。	管工事業
	例年実施される研修会等が新型コロナウイルス感染防止対策の一環で中止されている。なかには有効期間の問題もあるが、現時点で大きな話題迄には至らず。感染防止には気を抜かず、長期の覚悟でマスク、手洗い、三密の回避を続けたい。	土木工事業 柳井市
	5 月の受注高は、対前年同月 0%。今年度の累計は、対前年 93.1%。	土木工事業 萩市
	土木工事については、新型コロナウイルスの影響もほとんどなく、受注も前年並みで推移。	土木工事業 長門市
	新型コロナウイルスの影響で売上が減少傾向。	内装工事業
	大型連休等休みが多く稼働日数が少ないため、完成工事量は少ない模様。新築工事物件は減少傾向にあり、各社リフォーム工事の掘り起こしに注力している。	屋根工事業
	県内の新型コロナウイルス緊急事態宣言が解除され中断していた現場が徐々に再開しているものの、依然として工事延期や中止が発生しており、見積物件も少なく、先行きの不透明感が増している。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	新型コロナウイルスの影響で、4 月より一層輸送量が減少。特に輸出量が約 80%激減。国内向け約 60%強の減少。運送業及びドライバーも収入が対前年同月比で約 60%弱減少し労使共々困惑の現状である。新型コロナウイルスの一日も早い収束を祈るばかりである。燃料は 9.5 円の値下げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	新型コロナウイルスの影響で、今月も組合輸送取扱高は前年同月比で半減の見通し。6 月においてもこの状況は続く模様であり、7 月に入ると幾分改善の見通し。しかしながら、改善の度合いは全く分からない。	一般貨物自動車運送業 防府市
	新型コロナウイルスの影響が引き続いており、影響が大きい。運送部門は、B to B に特化している組合員の荷動きの減少が激しく、倉庫保管案件を絡めた受注に注力している。在宅勤務は行っていないが、小中学校	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>の休校の影響で、パート社員を中心に一次的な人手不足に陥っている。</p> <p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲69.3%（令和2年4月1日～令和2年5月20日分）。4月1日～30日分は▲70.1%、5月1日～20日分は▲67.8%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。4月分については、周南▲71.5%、下松▲73.0%、光▲79.9%、防府市地区が▲70.6%で、組合員の全域では▲72.2%、地区外（員外）▲38.9%（3月分が4月に到着受託）、合計▲70.1% ▲15,201千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが下がり（前月360.0\$/トンが今月290.0\$/トン、前年532.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下がり（前月342.0\$/トンが今月248.0\$/トン、前年430.0\$/トン）。為替は円安（前月108.528円/\$が108.96円/\$）。燃料単価は前月より6.5%下がり、前年5月分比も▲20.6%と大幅に下がった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、新型コロナウイルスの影響で需要が激減。乗務員募集は中断する所もあるようだが、将来の景気回復を見据えて、休業補償等で、人員確保に苦心しているような状況。経済的な事情もあって、非常事態宣言が緩くなってくるようだ。企業の出張移動、会合などが動き始め、夜間の飲食や宿泊など、タクシー利用も回復が期待されるが、再び感染が拡大してくる可能性もあり、急激な回復は難しいように思われる。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>今月は、1社の輸出用石灰石が突出して多かったため、他社のマイナス分を相殺することとなった。</p>	港湾運送業
その他	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が、組合員(医療関係・介護関係)にも多かれ少なかれある様子。今回の件で、今後の諸外国から技能実習生受入に際し心配される部分もあり、組合としても慎重に対応を進めているところ。</p>	介護事業